

# サポートブック推進事業について

横須賀市 障害とくらしの支援協議会 こども支援連絡会では、「家庭・教育・福祉をつなぎ、ライフステージが変わっても、生涯一貫して、関係者間で支援の方向性の共有を目指すツール」として「サポートブック」の作製と活用の推進（サポートブック推進事業）に取り組んでいます。

## サポートブックとは？

- ◇ サポートブックは、障害のある児童について、本人の生育歴や相談・判定歴などの「**基礎的な情報**」や、本人・家族の願いなどの「**支援の方向性**」の参考となる情報が記載された「**相談・支援ファイル**」です。
- ◇ お子さんの「**現在の姿**」、「**これまで**」の支援経過、「**本人・家族の願い**」を共有し、それぞれの機関で連携して、**お子さんの育ちを支えるための記録**です。
- ◇ 家庭や学校、放課後等デイサービス、外出先など、日常生活を送る上での、**基本的な生活能力やコミュニケーション手段、社会性を大まかに把握**することができます。
- ◇ **生育歴や医療情報、相談歴**などをまとめておくことで、福祉サービスへつながる時や療育手帳の判定などの相談で役に立ちます。
- ◇ サポートブックの活用により、**家庭・教育・福祉**などの関係機関同士の「**情報の共有**」と「**支援の方向性の共有化**」を目指しています。



## サポートブックの記入の仕方は？

- ◇ 基本的には、**保護者が記入**します。  
保護者が記入しづらいところは、**支援者に協力**してもらうこともできます。
- ◇ ご家庭やお子さんに合わせて、**必要な部分に記入**しましょう。
- ◇ **すべてを記入しなくても大丈夫**です。
- ◇ 個人情報として知らせたくないことは、**記入しないことやそのページを提出しない**こともできます。
- ◇ 記入後、**ご家庭で保管**をします。  
ライフステージが移る時やサービスの利用を開始する時などに、**活用（提示）**してください。



## いつ?どこで?活用できる?

◇ ライフステージが移る時や福祉サービスの利用を開始する時など、教育・福祉などの支援機関に提示し活用します。

\* 就園・就学・進学するとき

\* 福祉サービスを利用するとき

\* 市役所の窓口相談しに行くとき（就学相談の面談・療育手帳の判定・受給者証の手続き時など）

\* 18歳以降の進路先

\* 障害年金の相談・申請時



◇ また、学校においても、個別の教育支援計画（支援シート）や個別の指導計画を作成・見直しする際に、お子さんの実態把握に役立つことが出来ます。

## 更新・見直しの作業が必要?

◇ 少なくとも、ライフステージが変わるとき（3年に1回）は、お子さんの様子や成長を確認し、サポートブックの情報を見直し・更新をしておきましょう。

◇ 特に、未就学のお子さんや、小学校低学年のお子さんは、「日常生活のちから」の変化が大きいため、1年に1回程度、「学校での面談」や、「相談支援事業所でのモニタリング」の時などに、変化のあった部分を見直しておきましょう。



### <お問い合わせ先>

横須賀市 障害とくらしの支援協議会 こども支援連絡会 事務局

横須賀市福祉部障害福祉課 サポートブック推進事業担当 金子・八橋

電話：046-822-9837 FAX：046-825-6040

メール：hp-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp